

■有馬四郎助 鬼の初代網走監獄長からキリスト教に改宗、〈関東大震災〉で脱走者ゼロなど、世界行刑官の模範となった。

ありましろすけ

禁門の変・1864＝現在の鹿児島市下荒田町で、代々鍛冶を業として士族に列せられた家の四男に生れる。

明治維新・1868＝4歳：

戊辰戦争終・1869＝5歳：有馬家の養子となったが、そのまま実家に留まり、

学問のすすめ1872＝8歳：実父が病没後は、多くの子を抱えて辛酸をなめる実母によって育てられ、

明治6年政変 1873＝9歳：

鹿児島県立師範学校附属小学校高等科在学中、

西南戦争・1877＝13歳：長兄・三兄が〈西南戦争〉に従軍させられて討死。

琉球処分・1879＝15歳：成績抜群で卒業、母校の訓導補助を経て、伊佐郡羽月村崎山小学校訓導となるが、

明治14年政変1881＝17歳：志すところがあって京都に出、京都府二等巡査となるも、

新体詩抄・1882＝18歳：

秩父事件・1884＝20歳：辞職して帰郷、

内閣発足・1885＝21歳：鹿児島県警部補をつとめるうち、集治監による北海道開拓計画のため、全国からの看守募集に応募して、

帝国大学始・1886＝22歳：北海道庁新設の年、\*北海道集治監看守長兼書記となり、実母を伴い難儀して標茶の釧路集治監に到着。

国民之友始・1887＝23歳：北海道庁警部を兼任。典獄だった大井上輝前や神戸から囚人連れた原胤昭から強い感化を受けながら、

初の対等条約1888＝24歳：長期休暇を得、郷里に帰って結婚し、妻を釧路へ伴う。

帝国憲法発布1889＝25歳：空知監獄署第二課長へ転出、

帝国議会始・1890＝26歳：集治監の旧称に復するとともに、大井上が典獄として赴任してくる。長男が誕生。

足尾鉾毒始・1891＝27歳：\*囚人による道庁の採炭事業で、多量の開墾・道路整備を実現、新設の北海道集治監網走分監長へ栄転。

この間、原・留岡幸助をはじめ、同志社出身の教講師らの活動を見て、キリスト教を受入れ始め、

郡司千島探検1893＝29歳：次男が誕生。

日清戦争始・1894＝30歳：教諭師大塚素より聖書マルコ伝の文書通信講義をうけ、以後、その記録を身辺から離さず、

日清戦争終・1895＝31歳：埼玉県典獄となり、ついに北海道を離れて浦和町に赴任。三男が誕生。

白馬会・1896＝32歳：拓殖務省が設置され、その属として、行政官の立場から北海道を担当、

八幡製鉄始・1897＝33歳：拓殖務省廃止で廃官。この年、皇太后死去に伴い、かつてない大赦が実施され、社会復帰が課題となる。

子規句歌革新1898＝34歳：内務省属となり監獄局計表課長に就任。長女が誕生。\*臺南坂教会において留岡幸助牧師より受洗、キリスト

信者となった。警視庁典獄となり、巢鴨監獄署長に就任したが、留岡を迎えようとして仏教側との間で

教講師事件を起し、政治問題となって、市ヶ谷監獄署長に転任。

留岡が新設の警察監獄学校教授に転出して、事件が終結。神奈川典獄となり、活発な行動を開始。

Bushidou・1899＝35歳：

ビアノ国産化・1900＝36歳：大塚素のマルコ伝通信講義を製本し「友愛」と名づけて秘蔵したのをはじめ、囚人らに愛情をもって対応。

田中正造直訴1901＝37歳：教科書疑獄・1902＝38歳：四男が誕生。

日比谷公園・1903＝39歳：実母が中根岸官舎にて死去。死に先立って平田義道牧師より受洗。

日露戦争始・1904＝40歳：<日露戦争>が始まると、刑務官の研究例会で「外役論」を開陳、日本人の有頂天ぶりを戒める。横浜監獄内に

横浜根岸学校盲啞部が設立され、盲啞囚人の社会復帰教育に尽力する一方、

日露戦争終・1905＝41歳：

満鉄発足・1906＝42歳：五男が誕生。\*有志を募り、私的に小田原に〈幼年保護会〉を設立、日本初の少年釈放者保護事業を開始。

韓国反日暴動1907＝43歳：新たに横浜市根岸町に幼年保護会の感化部を設け、少年女子釈放者・要保護少女の善導を開始し、〈根岸家庭学園〉と称し、やはり日本最初の少女釈放者保護事業となる。

伊藤博文暗殺1909＝45歳：次女が誕生。\*男子保護部を設け、〈力行舎〉と称する。功労に勲五等瑞宝章。維持運営の費用に苦勞し、

韓国併合・1910＝46歳：四男が死去。\*〔東京毎日新聞〕に「横浜監獄は大伏魔殿」と書き立てられたりするもめげず、幼年保護会を財

団法人とするに至るが、神戸監獄に栄転となり、一切を留岡幸助に委任。

明治天皇没・1912＝48歳：岳父が死去。

大正政変・1913＝49歳：銀婚式と勤続二五年祝賀をする。城崎温泉に病氣療養。

第一次大戦始1914＝50歳：長男が留岡幸助の仲介により結婚。三女が誕生。長男が救世軍士官学校入学のためロンドンへ留学。

21ヶ条要求・1915＝51歳：\*小菅監獄へ転勤し、東京へ戻ると、根岸家庭学園を新築移転、〈横浜家庭学園〉と改称して今日に至る。

民本主義・1916＝52歳：小菅監獄会計主任の不正事件。六男が誕生。

本格政党内閣1918＝54歳：

この間、肝胆相照らす上司の谷田三郎監獄局長とコンビで、理想の花を開かせる。

大暴落・1920＝56歳：大塚素が死去。長男が渡米し、基督教会牧会のかたわら社会事業を研究する。

原敬首相暗殺1921＝57歳：公務視察のため朝鮮を旅行。

水平社結成・1922＝58歳：従四位勲三等の叙位叙勲。二荒芳徳伯爵とはかり、\*受刑者にはじめて活動写真(映画)をみせる。

関東大震災・1923＝59歳：横浜家庭学園が少年保護団体に指定。小菅家庭学園を設立。\*震災で小菅監獄全壊するも、解放の処置をと

らず全員無事を確認、受刑者らが団結して一人の逃走者も出さず、クリスチャン典獄として国内はもちろん

海外に知られる。幼年保護会事業所の全建物が倒壊したが、

治安維持法・1925＝61歳：\*小菅家庭学校・同婦人宿泊所。根岸力行舎が新築落成。横浜家庭学園も新築落成。

金融恐慌・1927＝63歳：長男が帰国し横浜家庭学園・横浜力行舎長に就任。\*豊多摩刑務所所長に転任、刑務官初の勅任官待遇。

世界恐慌・1929＝65歳：\*退職に際し特旨をもって正四位に昇叙。汎米社会事業会議に日本代表として出席。

満州事変・1931＝67歳：

五一五事件・1932＝68歳：根岸力行舎を横浜力行舎と改称。

国際連盟脱退1933＝69歳：国内の刑務所・支所を歴訪、樺太・北海道・九州・沖縄全国を巡遊する。

帝人疑獄事件1934＝70歳：留岡幸助の病状悪化を見舞った後、講演先の千葉刑務所で職員と囲碁中、脳溢血で倒れ、\*没した。